

鹿角市「人口ビジョン」・「総合戦略」の概要

～笑顔あふれる 元気な「かづの」を目指して～

人口ビジョン（～H72）

1. 人口動向分析

(1) 総人口の推移

- 本市の人口は、昭和30年をピークとして急激に減少を続け、近年は毎年1.5%ずつ人口が減少している。
- 生産年齢人口は、昭和60年に3万人を、平成22年には2万人を割るなど減少傾向が続いている。

(2) 自然増減と社会増減の推移

- 自然増減は、昭和63年に自然減に転じてからは減少の一途で、近年は人口減少の主要因。一方、婚姻率を上げることで出生数を高められる可能性がある。
- 社会増減は、平成8年に転入と転出が肉薄したものの一度もプラスに転ずることなく推移。平成20年以降は転入・転出ともに縮小傾向にある。

(3) 年齢階級別の人口移動の状況

- 15～19歳及び20～24歳で大幅な転出超過の一方、25～29歳は転入超過。高等学校卒業後の進学や就職に伴う転出と大学卒業後のUターン就職等に伴う転入と考えられる。
- 55～59歳から60～65歳も転入超過で、退職に伴い、本市に居住地を移すケースもあると考えられる。

2. 将来人口推計と分析

(1) 社人研※による将来人口推計

- 本市の人口は平成57(2045)年には2万人を割り込み、平成72(2060)年には14,437人と推計され、国より速いペースで人口減少が進む。
- 平成72年の年少人口は10%を下回り、生産年齢人口は49.3%、老年人口は41%となり、少子高齢化がさらに進行。

(2) 将来人口に及ぼす自然増減・社会増減の影響

- 本市の人口に対しては社会増減の影響度が大きい。
- 将来人口の試算では、人口移動が均衡した場合に人口減少のスピードが一番遅く、最も早く人口構造が若返る。

(3) 人口減少による地域経済への影響

- 人口減少の影響は労働供給量の不足を招く。社人研推計をもとにすると、平成72年の従業者数は1万人以上減少し8,000人を割り込み、結果、生産額が減少し、地域経済に深刻な影響。

※社人研・・・国立社会保障・人口問題研究所

3. 人口の将来展望

(1) 基本的視点

- 視点1** 人口流出の抑制とUターン・Iターン促進
- 視点2** 若い世代の就労と結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現
- 視点3** 地域問題の解決と本市の特徴を生かした地域活性化

(2) 目指すべき将来人口

将来展望の仮定

➢ 合計特殊出生率の向上

- 本市と国の合計特殊出生率の差を考慮し、平成32(2020)年に1.8、平成47(2035)年に人口置換水準2.07を達成し、以降2.07を維持

➢ 雇用の場の確保等による若年層及び子育て世代の転入促進

- 平成27(2015)年からの20～24歳→25～29歳の純移動率を社人研推計の2倍、30～34歳→35～39歳の純移動率を0.02、25～29歳→30～34歳はこの2つの年齢階級の純移動率の中間値

人口の将来展望

平成72(2060)年

2万人台

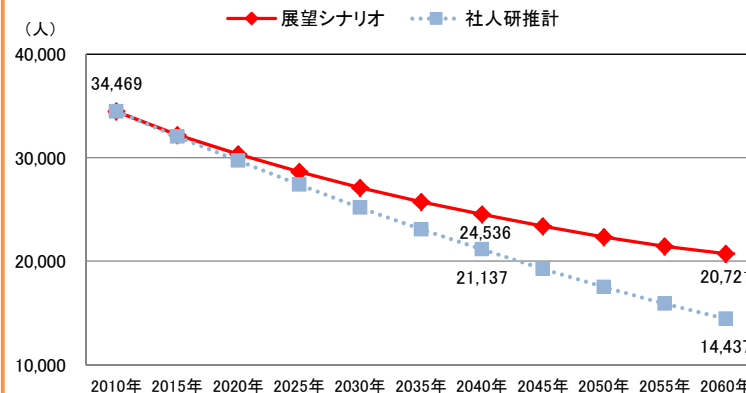
の確保

社人研推計に比べ
約6,000人の増加

人口構造も若返る

年少人口15.3%、
生産年齢人口54.0%
老年人口30.7%

将来展望と社人研推計人口との比較



まち・ひと・しごと創生総合戦略（～H31）

基本目標 1 笑顔あふれる雇用をつくる

数値目標	基準値	目標値(H31)
雇用創出数	—	累計 290人増

- ①域外市場産業の活性化
(ア)競争力の高い産業の育成 (イ)新産業の創出
- ②地域資源の循環
(ア)地域内連携の活性化 (イ)地域商業の活性化
- ③産業人材の確保
(ア)人材の育成 (イ)就業支援

基本目標 2 笑顔あふれる人の流れをつくる

数値目標	基準値	目標値
転入者数(年間)	648人(直近5年平均)	700人(H31年)

- ①首都圏等からの移住の促進
(ア)移住の促進 (イ)地域間交流の推進
- ②都市ブランドの確立
(ア)ブランドコンセプトの確立 (イ)地域資源の信頼向上 (ウ)魅力の発信

基本目標 3 笑顔あふれる若い世代の希望をかなえる

数値目標	基準値	目標値
合計特殊出生率	1.58(H24)	1.8(H31)

- ①結婚しやすい環境づくり
- ②安心して出産できる環境づくり
- ③子育て支援サービスの充実
- ④子育てに伴う経済的負担の軽減

基本目標 4 笑顔あふれる地域をつくる

数値目標	基準値	目標値
住みごちの満足度	54.7%(H26)	60.0%(H31)

- ①まちなか賑わい創出
(ア)中心市街地の魅力の向上 (イ)中心市街地における快適性や利便性の向上 (ウ)中心市街地へのアクセス向上
- ②地域コミュニティの活力再生
(ア)コミュニティ支援体制の強化 (イ)地域人材の確保
- ③健康生き生き長寿社会の実現
(ア)豊かなシニアライフの促進 (イ)高齢者の安心を支える福祉サービスの充実

まち・ひと・しごと創生総合戦略

基本目標ごとの施策の方向

総合戦略の各施策は、鹿角市総合計画に包含され、後期基本計画における重点プロジェクト中のまち・ひと・しごと創生に関する事業で構成

基本目標 1

笑顔あふれる雇用をつくる

- ①域外市場産業の活性化
- (ア)競争力の高い産業の育成
 - 農業生産物の高付加価値化(経営サポーター・サポートチームによる支援、ブランド確立(淡雪こまち、そば、北限の桃、かづの牛)、新ブランド育成、こだわり作物栽培推進)
 - 地元企業の高度化支援(企業立地助成金、小規模事業者支援、新商品開発・販路拡大支援)
 - 観光産業の振興(外国人観光客等の誘客推進、コンベンション開催助成、観光ファン有料会員への特典付与、湯の駅整備、八幡平の魅力発信、観光プラットフォームの機能強化)
- (イ)新産業の創出
 - 企業誘致促進、再生可能エネルギー分野への参入促進、若者・女性などの起業・創業支援、レンタルオフィス整備

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値（H31）
経営サポートチームへの相談件数	—	累計24件
新増設及び事業の高度化件数	—	累計42件
観光客数	175万人(H26)	191万人
起業・創業者数	—	累計35件

- ②地域資源の循環
- (ア)地域内連携の活性化
 - 異業種連携の推進(アグリビジネス支援、(仮称)鹿角マルシェ)
 - 地産地消の推進(かづの産食ショップ認証、再造林助成、新電力設立)
- (イ)地域商業の活性化
 - 商品開発支援、商店街リノベーション支援、起業・創業支援(再掲)

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値（H31）
アグリビジネス支援件数	—	累計8件
ハミングカード・コナンカードポイント付与数	14,688千ポイント	14,948千ポイント

- ③産業人材の確保
- (ア)人材の育成
 - 企業の農業参入支援、事業承継支援、研修助成
- (イ)就業支援
 - 新規就農支援、新規学卒者雇用奨励、Aターン就職促進、介護人材確保支援、正規雇用転換等雇用環境改善支援

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値（H31）
産業人材育成支援事業活用量	—	累計250人
Aターン就業者数	—	累計90人

基本目標 2

笑顔あふれるひとの流れをつくる

- ①首都圏等からの移住の促進
- (ア)移住の促進
 - 移住促進体制の整備、移住フェア等による情報発信、お試し移住ツアー、空き家活用支援、移住の際の経済的支援
- (イ)地域間交流の推進
 - 都市農村交流の推進、スポーツ交流の推進、県外大学等調査研究活動支援

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値（H31）
移住・定住サポーター登録者数	—	累計100人
スポーツ合宿奨励補助金利用人数	3,231人(H26)	3,540人

- ②都市ブランドの確立
- (ア)ブランドコンセプトの確立
 - ブランド推進組織の運営、ブランド形成に向けた取り組みの推進
- (イ)地域資源の信頼向上
 - 農産物のブランド向上、訴求力のある観光プログラムの創出
- (ウ)魅力の発信
 - 移住フェアやスポーツ大会等でのイメージ発信、PR事業認定

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値（H31）
鹿角に愛着を持つ人の割合	—	68%
鹿角市の全国的な魅力度順位	564位(H26)	320位
鹿角市の全国的な認知度順位	711位(H26)	520位

基本目標 3

笑顔あふれる若い世代の希望をかなえる

- ①結婚しやすい環境づくり
- あきた結婚支援センター入会登録料無料化、出会いの場の提供、結婚・子育て支援特別資金返済補助

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値（H31）
出会いイベント提供数	—	累計40件

- ②安心して出産できる環境づくり
- 産科医確保対策、妊婦健康診査助成、不妊・不育症治療助成、結婚・子育て支援特別資金返済補助(再掲)、ファーストベビー祝い金

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値（H31）
市内の産婦人科医師数	3人(H26)	3人

- ③子育て支援サービスの充実
- 母子の健康づくり支援(むし歯予防大作戦、小児科医確保対策)
 - 子どもの預かり支援(放課後児童クラブの開所時間延長・受入児童拡大、ファミリー・サポート・センター運営)
 - 保育体制の充実(途中入園対策、病児・病後児保育)
 - 小児医療等の確保(地域中核病院における医師確保支援)

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値（H31）
保育園の待機児童数	0人(H26)	0人

- ④子育てに伴う経済的負担の軽減
- 保育料軽減・福祉医療給付の拡充、結婚・子育て支援特別資金返済助成(再掲)、第2子の保育料無料化、第3子以降の保育料と放課後児童クラブ・ファミサポ利用料の無料化、教育費用の助成

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値（H31）
出生数に占める第3子以降の割合	22.7%(H26)	27.7%

基本目標 4

笑顔あふれる地域をつくる

- ①まちなか賑わい創出
- (ア)中心市街地の魅力の向上
 - 商業機能等集積促進、イベント支援、コモッセの商店街連携、まち歩き観光推進
- (イ)中心市街地における快適性や利便性の向上
 - 駅前広場・道路等の整備、まちなか居住推進
- (ウ)中心市街地のアクセス向上
 - たんぼこまち号運行、バス路線維持確保、地域乗合交通支援

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値（H31）
商店街空き店舗数	35店舗(H26)	25店舗
中心市街地歩行者数(1日平均)	4,307人(H26)	4,700人
たんぼこまち号の利用人数(年間)	14,950人(H26)	15,714人

- ②地域コミュニティの活力再生
- (ア)地域人材の確保
 - 人材育成プログラム、外部人材の活用(集落支援員等)
- (イ)コミュニティ支援体制の強化
 - 地域づくり協議会の強化、集落支援員の配置、活動支援

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値（H31）
人材育成塾延べ塾生数	—	45人
集落支援員支援自治会数	—	累計12自治会

- ③健康生き生き長寿社会の実現
- (ア)豊かなシニアライフの促進
 - 脳血管疾患対策、助成、生涯スポーツ推進、地域生き活きサロン
- (イ)高齢者の安心を支える福祉サービスの充実
 - 高齢者の見守りネットワーク、除雪等の生活支援サービス、福祉タクシー券の支給、ボランティアの育成、家族介護者等支援、認知症総合対策、介護関係施設等整備

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値（H31）
要介護・要支援認定率	18.0%(H26)	17.9%
軽度生活援助サービス提供時間	4,543時間(H26)	4,924時間

-
- 推進体制・・・策定時と同様、市民、関係団体と連携して、地域の総力を挙げて取り組む。

○検証・・・鹿角市行政評価制度に基づく政策評価で行うとともに、政策研究所の政策アドバイザー（外部有識者）から助言を受ける。取り組みの効果を検証し、必要に応じて総合戦略の改訂を行う。